JT News Release
日本たばこ産業株式会社

2012年8月23日

森林保全活動　「JTの森 智頭（ちづ）」
鳥取県、智頭町と森林保全協定を3年間更新

JT（本社：東京都港区　社長：小泉　光臣）は、鳥取県八頭郡智頭町（やずぐん　ちづちょう）で実施している森林保全活動「JTの森 智頭」の森林保全協定を3年間更新し、2期目の活動に取組みます。

JTは、鳥取県が進める「とっとり共生の森」制度に基づき、鳥取県、智頭町と2007年8月に5年間の協定を締結し、民有林の森林保全活動に協働で取組んでまいりました。作業道開設で間伐が進み、下層植生も復元し始めるなど成果が得られたものの、周辺の森林も含めて引き続き手入れが必要なことから、隣接する森林1.89haを新たに加えた24.31haの森林を対象として協定を更新することとしました。

2期目の取組みは、広葉樹を植栽した「植林と交流ゾーン」において、下刈や補植などを通じて多様な植生・樹冠で構成される複層林の育成を目指し、スギ・ヒノキが主体の「取り戻せ斜光ゾーン」では、植生の回復状況を確認しながら管理を続け、健全な森林を目指します。また、新たに加わった協定林では間伐を実施します。

加えて、協定林や田畑にも獣害が広がっていることから、被害を防ぐネットの設置や、約5,000mの作業道を活用して散策などが楽しめるような案内看板の設置などにも取組みます。

なお、森林の日常管理や主な整備は1期目と同様に智頭町森林組合へ委託しますが、地域の方々とJTグループ従業員の協働による森林保全活動も引き続き行う予定です。

協定林は、水源涵養保安林に指定される鳥取県東部の水源林であると同時に、集落と接するいわゆる里山で、暮らしや伝統、文化と密接に結びついています。地域の方々が目指す森となるよう、パートナーの方々と協働で整備や森林保全活動に取組んでまいります。

なお、協定の更新にあたり、8月29日（水）に、鳥取県知事公邸において「とっとり共生の森」森林保全・管理協定調印式を行います。

JTグループは、たばこ、医薬、食品事業を中心とした各事業で、葉たばこ、紙、野菜、茶葉などを原材料として使用しており、事業を支える自然の恵みに対する感謝の想いと企業の社会的責任の観点から、森林保全活動に取組んでいます。

今後も、健全で豊かな環境が将来の世代に引き継がれるよう、より良い環境の創造に向けた積極的な取組みを進めてまいります。

【実施内容】

名称	実施内容
JTの森 智頭	実 施 地：鳥取県八頭郡智頭町大字慶所 面　　積：24.31ha 活動内容：下刈、補植、間伐、獣害防止ネット設置、作業道開設・修繕など 活動期間：3年間

ＪＴ本社　ＩＲ広報部　　〒105-8422　東京都港区虎ノ門２丁目２番１号　TEL 03-5572-4291

ひとのときを、想う。JT